

科目名	数学A	単位数	2単位	学科・学年	全科 2年	
使用教科書	改訂版 最新 数学A 数研出版	副教材等	改訂版Study-Upノート 数学A 数研出版 (B2-A) 新課程チャート式基礎と演習 数学I+A 数研出版			
学習目標	場合の数と確率，図形の性質について理解させ，基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り，事象を数学的に考察する能力を養い，数学のよさを認識できるようにするとともに，それらを活用する態度を育てる。					
学習評価	○ 次の四つの観点に基づき、学習内容のまとめり（定期考査までを学習のひとまとめり）ごとに下の評価規準により評価を行い、学年末に5段階の評定に総括します。					
	①関心・意欲・態度	数学の論理や体系に関心をもつとともに，数学のよさを認識し，それらを事象の考察に積極的に活用して数学的論拠に基づいて判断しようとする。				
	②数学的な見方や考え方	事象を数学的に考察し表現したり，思考の過程を振り返り多面的・発展的に考えたりすることなどを通して，数学的な見方や考え方を身に付けている。				
	③数学的な技能	事象を数学的に表現・処理する仕方や推論の方法などの技能を身に付けている。				
	④知識・理解	数学における基本的な概念，原理・法則などを体系的に理解し，知識を身に付けている。				
		評価方法\観点	①	②	③	④
学習状況観察		◎	—	—	—	学習態度や状況を観察
課題提出		○	◎	◎	◎	副教材、プリント等
ノート提出		◎	○	○	○	学期に数回提出
ペーパーテスト		—	○	◎	◎	小テスト、定期テスト
※表中の◎は観点の中でより重視するところです。						
履修上の注意	<p>数学の学習はピラミッド型で積み上げ式になっており、基礎学力を身につけ、前時までの内容が十分に理解できていないと、次の授業の内容は理解しにくくなります。教科書もそのような主旨で編成されていますので、毎日の予習・復習を必ずする必要があります。</p> <p>その観点から、数学Aの内容は、比較的数学Iが苦手な生徒も十分に理解できる内容になっています。</p>					

学期	月	学 習 内 容	時 数	学 習 の ね ら い	学習活動（評価方法）
1	4	第1章 場合の数と確率 第1節 場合の数	20	<ul style="list-style-type: none"> ・集合の意味や用語を理解する。 ・部分集合，共通部分，和集合，全体集合と補集合など，集合間の関係を理解する。 ・ド・モルガンの法則を理解し，それを用いて集合の要素の個数が求められるようにする。 ・もれなく重複なく数え上げるための工夫として，樹形図などを理解する。 ・数え上げの基本である「和の法則」「積の法則」を理解し，それらを活用できるようにする。 	学習状況観察 課題提出 ノート提出 小テスト 中間テスト
	5				
	6	第2節 確率	8	<ul style="list-style-type: none"> ・順序をつけて並べる並べ方の総数について理解する。 ・重複順列，円順列の総数を求める考え方について理解する。 ・組合せの総数を求める考え方について理解し，総数を求め，それらを活用できるようにする。 	学習状況観察 課題提出 ノート提出 小テスト 期末テスト
7		8	<ul style="list-style-type: none"> ・確率の意味について理解する。 ・事象を，集合を用いて表すことができるようにし，根元事象が同様に確からしい場合の確率の計算ができるようにする。 ・確率の基本的な性質や確率の加法定理，和事象の確率について理解し，やや複雑な事象の確率が求められるようにする。 ・余事象の考えを用いて確率を求めることができるようにする。 		
2	9		8	<ul style="list-style-type: none"> ・独立な試行について理解し，2つの独立な試行における事象がともに起こる確率が求められるようにする。 ・反復試行の確率が求められるようにする。 ・条件つき確率の概念を理解し，具体的な場面で活用できるようにする。 ・確率の乗法定理を理解し，活用できるようにする。 	学習状況観察 課題提出 ノート提出 小テスト 中間テスト
	10	第2章 図形の性質 第1節 平面図形	10	<ul style="list-style-type: none"> ・線分の内分，外分について理解する。 ・平行線と線分の比について理解する。 ・三角形の角の二等分線の性質について理解する。 ・三角形の重心・外心・内心と，その性質を理解する。 ・チェバの定理・メネラウスの定理について理解する。 	
	11				学習状況観察 課題提出 ノート提出 小テスト 期末テスト

	12		10	<ul style="list-style-type: none"> ・円周角の定理とその逆について確認する。 ・円に内接する四角形の性質や、四角形が円に内接する条件について理解し、それらを活用できるようにする。 ・円外の点から円に引いた2本の接線の長さについて理解する。 ・円の接線とその接点を通る弦がつくる角と円周角との関係を理解し、それらを活用できるようにする。 ・方べきの定理について理解し、それを用いることができるようにする。 ・2つの円の位置関係や、共通接線について理解する。 	
3	1		6	<ul style="list-style-type: none"> ・線分の垂直二等分線、角の二等分線、直線上の点における垂線、直線外の点からの垂線など、基本的な作図の方法について確認する。 ・ある直線上に平行な直線を作図することができるようにする。 ・線分を内分する点や外分する点を作図することができるようにする。 ・ある大きさの線分を作図できるようにする。 ・円の接線を作図することができるようにする。 	<p>学習状況観察 課題提出 ノート提出 小テスト 学年末テスト</p>
	2	第2節 空間図形	8	<ul style="list-style-type: none"> ・空間における2直線の位置関係、2直線のなす角などについて理解する。 ・空間における直線と平面の位置関係、直線と平面の垂直条件、直線と平面のなす角などについて理解する。 ・空間における2平面の位置関係、2平面のなす角などについて理解する。 ・三垂線の定理について理解する。 ・多面体に関するオイラーの定理について理解する。 ・正多面体は5種類に限られることを理解する。 	
	3				